

第11回 名鉄西尾・蒲郡線（西尾駅～蒲郡駅）対策協議会 議事録

- ・日時：平成24年3月29日（木）10:00～11:00
- ・場所：西尾市役所 51 会議室
- ・出席：（自治体）西尾市 神谷副市長
蒲郡市 鈴木副市長
愛知県地域振興部交通対策課 岡本主幹
（オブザーバー）中部運輸局鉄道部 加藤監理課長
（名鉄）横井常務取締役鉄道事業本部副本部長兼計画部長

[発言要旨]

（会長：西尾市）

- 昨年9月に策定した名鉄西尾・蒲郡線活性化計画に官民総ぐるみで取り組んでいる。
- 平成23年度の目標値、3,137千人は無理である。東日本大震災の影響、また2度の台風による影響が大きかった。
- しかし、両市の応援団を始め、総ぐるみで利用促進に取り組んでいる。
- 平成24年度は、平成25年度以降のあり方について検討を行う。

（事務局：西尾市交通対策課）

（1）平成24年度のスケジュールについて

- 総会については、10月と3月に開催予定。10月は、別添確認書第4条第1項による名古屋鉄道㈱から実績報告を提出いただき、支援を決定します。また、第6条の規定により、平成24年度中に結論を出すことになっているため、3月に開催する予定です。
- 名鉄西尾・蒲郡線活性化協議会と連携を図り、利用促進に取り組みたい。

別添スケジュールで合意。

（事務局：西尾市交通対策課）

（2）平成23年度名鉄西尾・蒲郡線の輸送人員の状況について

- 東日本大震災の影響による出控え、2度の台風によるマイナス要因があったが、10月以降は伸び、昨年度の数値3,071千人に届きそうである。

出席者から一言。

（蒲郡市）

- 西三河への公共交通として重要な社会基盤である。
- 市民まるごと赤い電車応援団の利用促進の呼びかけにより機運は盛り上がっている。
- 名鉄を利用した平日宿泊者に対し、1000円を割り引く企画を実施した。
- 4月以降は、名鉄を利用した小中学生を対象に、竹島水族館と生命の海科学館を入場無料にします。

（愛知県）

- 西尾市も蒲郡市も利用促進に取り組んでいるが、目標達成は難しい。

- 今後も今まで以上に頑張ってもらいたい。
- イベントだけではなく、通勤・通学への転換を呼びかけてほしい。
- 名鉄も利用促進に取り組んでいただきありがたいと思っている。

(名鉄)

- 確認書を締結し、活性化協議会を立ち上げ、利用促進に取り組んでいただき、感謝します。
- 名鉄としても、西尾駅キャンペーン、酒蔵めぐりなど今後も継続したい。
- 平成25年度以降のあり方については、真摯に議論に臨みたい。
- 努力、ご協力いただいているが、利用者はまだ少ない状況に変わりはない。安全、合理化に努めますので御支援をお願いします。

(中部運輸局)

- 全国的に上半期は、大変輸送人員は落ち込みました。下半期は上がっています。
- 沿線の支援なくして成立しません。タッグを組んでほしい。

(西尾市)

- 合併して1年になる。平成24年度秋を目標に、既存鉄道、バスと連携してデマンドタクシーをスタートします。
- ぐるりんバス3コース(45分)は利用者が少ない。
- 名鉄西尾・蒲郡線は、存続を前提に、いい方向を示したい。

(以上)